

青谷地域振興未来会議 地域課題提案書

提出日：令和 8 年 5 月 9 日 提案者：浦島 考雄

【提案の背景・現状】

現在、青谷町駅前地区において民生委員を務めております。駅前区には約 145 世帯が生活しており、その中で、保護者の方から伺った情報によると、40 代・50 代で大学卒業後に帰省し、その後長期間自宅に引きこもって生活している方が少なくとも 3 名いらっしゃるとのことでした。

実際には把握されていない方も存在する可能性があり、この状況を青谷町全体（人口約 4,900 人）に当てはめ、仮に 2%と想定した場合、約 98 名程度の引きこもり状態の方がいる可能性も考えられます。

現在のご家族の支えによって生活が成り立っているケースもありますが、将来的な自立や社会参加の観点から見たときに、このままでよいのかという課題があります。また、支援制度や相談窓口が存在していても、情報が十分に届いていないため、支援につなげていない状況も考えられます。

【解決したい課題】

小・中・高校生の場合は、スクールソーシャルワーカーや学校との連携により支援体制が整えられていますが、成人後は本人や家族からの発信がなければ支援が届きにくい現状があります。

そのため、支援者が伴走しながら本人の将来を共に考え、社会参加や就労につながる支援の仕組みが必要であると考えます。また、本来働く力を持っている方が機会を得られないまま将来的に生活保護に至るのではなく、自立に向けた支援を早期に行うことが重要です。

【課題解決のための具体案】

・地域の保健師等と連携し、相談窓口や支援機関の情報をまとめたパンフレットを作成する。

- ・作成した資料を回覧板等を通じて各家庭へ配布し、必要な情報が届く仕組みを構築する。
- ・鳥取市で実施されているピアサポーターの取り組みを参考にし、中央公民館等で研修会を開催する。
- ・精神障害や引きこもりに対する理解を深めるとともに、地域に存在する支援機関の周知を図る。

以上の取り組みにより、地域全体で支え合い、誰もが安心して暮らせる環境づくりを目指したいと考えております。

【回覧】相談できる場所のご案内 (ひとりで悩まないで～共に考えよう～)

地域の皆さまへ

日頃より地域活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

最近、「外に出る機会が少ない」「人と関わることに不安がある」「誰にも相談できず悩んでいる」といった声を耳にすることがあります。

そのような時に、気軽に相談できる窓口や支援機関があることをご存じでしょうか。

無理に何かを変える必要はありませんが、「話を聞いてもらうだけ」でも、少し気持ちが軽くなることがあります。

★このような方へ

- ・外出することが少なくなっている方
- ・人との関わりに不安を感じている方
- ・仕事や生活について悩んでいる方
- ・ご家族のことで相談したい方

★相談先の一例

- ・ひきこもり支援センター（生活・就労などの相談）
- ・鳥取市基幹相談支援センター（障害のある方の支援全般）
- ・青谷町福祉課（各種制度の案内）

※相談は無料で、秘密は守られます。

※ご本人だけでなく、ご家族からの相談も可能です。

★ご利用方法

- ・電話相談
- ・来所相談（予約制の場合あり）
- ・訪問相談（対応可能な場合あり）

※詳しくは各窓口へお問い合わせください。

「こんなことで相談していいのかな」と思うことでも大丈夫です。

ひとりで抱え込まず、安心してご相談ください。

【問い合わせ先】

ひきこもり支援センター ０８５７－２０－０２２２

基幹相談支援センター ０８５７－２２－０６７８

青谷町総合支所市民福祉課保健師 ０８５７－３０－８６７４

青谷地域振興未来会議 地域課題提案書

提出日 令和 8 年 7 月 1 日

提案者 山田由理子

提案名(タイトル)

「青谷地域活動団体の見える化と連携強化について」

提案の背景、現状

近年、青谷地域では住民によるイベントや地域活性化活動が活発になっています。しかし、総合支所関係、社会福祉協議会関係、各種ボランティア団体、作業所、公民館関係、青谷上寺地遺跡関係、文化団体、伝統産業、農林漁業などの各種産業関係など、多くの団体が活動している一方で、それぞれの活動内容や連絡先が十分に共有されておらず、団体同士の横のつながりが少ない現状があります。また、活動している住民の所属が重複していることも多く、人材や情報が限られた中で個別に活動している状況が見られます。

② 解決したい課題

- ・地域内で活動する団体同士の情報共有不足
- ・団体間の連携や協力体制の不足
- ・活動内容や人材の重複による負担の増加
- ・地域住民が活動団体の存在や活動内容を把握しにくいこと
- ・地域課題に対して団体ごとの対応となり、効果的な協働が進みにくいこと

③ 課題解決のための具体案

- (1) 青谷地域で活動する団体について、団体名、活動内容、活動分野、活動地域、連絡窓口等を整理した「地域活動団体一覧」を作成し、団体間の情報共有や連携促進に活用する。
(各団体が公開を了承した情報のみを掲載し、活動団体の個人情報収集することではなく、地域内の活動資源に見える化し、団体間の連携を促進する仕組みにする)
- (2) 定期的な情報交換会や交流会を開催し、団体同士が顔の見える関係を築ける場を設ける。各団体が必要としている支援や協力可能な内容を共有することで、イベントや地域課題への対応において相互協力を進める。これにより、人材や情報を有効活用し、地域全体の活性化につなげる。
などが考えられます。



青谷地域未来振興会議 地域課題提案書

提案日 令和8年7月6日

提案者 棚田美紀雄

①提案の背景、現状

青谷町には、町の活性化に向けて、町内外からの集客を図ろうと意欲的に活動している団体が多数存在し、事業を推進している。(かみじち音楽祭、青谷ようこそ市場、青谷散歩フェス等)

しかし、それぞれの団体が独立していて、事業によってはややマンネリ化している感じがする。(この前の青谷地区まちづくり協議会役員会でも同様の意見が出ていた。)

②解決したい課題

- ・各種団体相互の連携強化(まち協、公民館、企業等も含む)
→事業を増やすのではない。
- ・新たな青谷町の魅力の追求

③課題解決のための具体策

- ・合同連絡協議会の開催(青谷地域活性化推進事業のワイド版)
→各種団体、かみじち、和紙工房、郷土館、企業、まち協、公民館等
- ・目標の一本化
→同一目標に向けたマトリックスによる事業の推進(青谷地域の課題解決や魅力の追求)
例:地場産物の活用、伝統産業・地場産業のPR、かみじちとの共同事業、観光地PR等の中から絞り込んでいく。
- ・各種事業への連携協力及びボランティア(学生含む)の募集により地域人材の育成。

青谷地域振興未来会議 地域課題提案書

提出日 令和8年 月 日 提案者 田内伸一

①提案の背景、現状

ダイキンアレスが災害時に一時避難所の対応をすると地元には説明を受けていますが明文化したものは見たことはありません。

②解決したい課題

ダイキンと鳥取市で災害時の避難に関する協定

③課題解決のための具体案(あれば)

協定書がなければ、新たに協定書の締結をしてはどうか。

・令和8年7月7日(火)までに地域振興課まで提出してください。